



フランス・ボルドー



富山市

CHECK  
02

これからの札幌のまちづくりの課題

路面電車は、人や環境に優しく、まちの活性化に貢献できるという点から、国内外の都市で導入が進んでいます。市では「路線の延伸」が右記の課題解決に向け有効な手段の1つであると考え、検証を進めました。

3人に1人が高齢者となる超高齢社会が目前

車を運転しなくても高齢者が気軽に外出できるように、バリアフリーで利用しやすい公共交通網の充実が必要となります。

人口減少・観光客減少によるまちの活力低下

特に中心部で経済活動の低下が心配されるため、観光客の誘致などに向け、札幌の「まちの顔」である都心部を活性化させる必要があります。

環境負荷の増大

中心部での自動車利用の増加など、二酸化炭素の排出増加が懸念されるため、必要以上に自家用車に頼らない、環境に優しいまちをつくる必要があります。

都心まちづくりフォーラムを開催

路面電車の活用など、札幌の魅力を高めるための今後の都心のまちづくりについて、有識者を交えてパネルディスカッションなどを行います。

日時 8月24日(火)  
午後6時～8時30分  
会場 教育文化会館(中央区北1西13)  
定員 300人  
申込 7月11日(日)から市コールセンター(☎222-4894、FAX221-4894、E info4894@city.sapporo.jp)へ。先着

パンフレットを配布中

路面電車を活用したまちづくりについて詳しく掲載しています。

配布場所  
区役所、区民センターほか



■高齢者に優しいまちづくり

階段を使わずに地上から直接乗降できるため、高齢者にも優しく、気兼ねな外出を促すほか、線路が目で見え、行き先が分かりやすく、観光客など誰にでも使いやすい乗り物です。

→富山市では、廃止されたJR線を活用して路面電車を導入した結果、高齢者を中心に利用者が増加。これまで外出しなかった人が外出することなどにより、乗客数は導入前の2.2倍に

■魅力とにぎわいのあふれる都心づくり

デザイン性に優れた車両や停留場が都心部の新たな魅力となり、多くのにぎわいを運びます。



↑札幌駅を利用する来札幌者の都心部の回遊を促します



路面電車の活用で札幌がより魅力的で快適なまちに

■環境負荷の低減

都心部での公共交通の充実により、自家用車からの転換を促し、環境に優しく、歩いて暮らせるまちづくりを実現します。

■1人を1km運ぶときに排出される二酸化炭素の量



路線の延伸などについて、今後、皆さんと十分な議論を行っていきます

無作為抽出した市民から参加者を募り、秋ごろをめどに大規模な「市民会議」を実施するなど、さまざまな機会を設けて皆さんと議論を深めていく予定です。ぜひ、たくさんの意見を聞かせてください。